

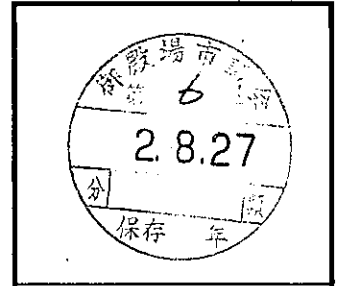
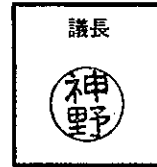
発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。

令和 2年 8月27日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 3番 勝又 英博



10時19分

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問 一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項1 未来の公共交通と駅前開発について

具体的内容 2030年までに持続可能な開発目標 (SDGs) の達成を目指し、「脱炭素社会・循環経済・分散型社会」への移行が必要だとされ、本市は2050年までにゼロカーボンシティ「二酸化炭素排出量実質ゼロ」を宣言している。住民の足となる、また観光ハブ都市でもある本市の公共インフラの未来の在り方を考え従来型の駅前開発の意味を問う。

質問

- 1 バスシステムの状況について
- 2 JR富士岡・御殿場・南御殿場駅の開発と公共交通の関連について
- 3 高齢者が増加する将来への対応について
- 4 本市の未来都市構想について

発言の種別 代表質問 一般質問 一括質問 一括答弁方式 一問一答方式 ※ 選択制

質問事項2 治山・治水対策の充実について

具体的内容 自然災害から身を守るため、富士山噴火の防災ハザードマップでの避難訓練や地震に対する備えは見える。しかし、河川や森林に対する安全確保も問われている時代である。特に、最近の気候変動は著しく100年に一度の災害も起きる可能性がある。また、生態系の維持・保護もSDGsの大きなテーマである。水と森と共生していく必要がある時代に、危機管理の観点から方針を問う。

質問

- 1 災害に強い山 (森林) づくり推進の現状について
- 2 河川の改修及び維持管理について
- 3 自然災害を想定した治山・治水の具体的な対策について